

「膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタピン療法と S-1 療法の第Ⅲ相比較試験 (JASPAC 01)」に参加いただいた方へ

「膵がん切除例における補助化学療法の効果予測因子および予後因子に関する研究実施計画書」の実施について

1. 本研究の意義および目的

この研究では、JASPAC 01 研究に参加された患者さんの遺伝子の発現状況とタンパク発現量を調べ、より治療効果が期待できる膵がん患者さんを特定することを目的としています。

2. 研究の方法

以前手術で摘出し当院に保存してある腫瘍組織の病理標本を研究用試料として利用させていただきます。今回の研究ではゲムシタピンや S-1 の薬剤の治療効果に関連する可能性がある 22 種類の遺伝子の発現量やタンパク質の発現量を調べます。これらはがん細胞の中で生じている遺伝子やタンパクの発現量を調べるものであり、あなたの家系的に遺伝する遺伝子の特徴をみる調査ではありません。この研究に協力することであなたのお身体に新たな負担がかかったり、検査が増えたりすることはありません。

3. 試料等の保存および使用方法について

ご提供いただいた組織標本等の試料は、研究期間中は測定を行う機関で厳重に保管します。研究期間が終了した後に、試料を廃棄します。試料を廃棄するため、他の研究に使用されることはありません。

4. 研究期間

この研究は、2015 年 10 月に開始し、2020 年 10 月に終了する予定です。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌等で発表いたします。

6. 研究の開示について

この研究の内容を詳しく知りたい場合には、研究の実施に支障のない範囲で、試験実施計画書等の資料をお見せすることが出来ます。希望される場合には担当医師にお申し出ください。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記(10)連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 独立行政法人国立病院機構四国がんセンター

【研究責任者】 浅木彰則

10. 連絡先

〒790-0280

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 消化器内科 浅木彰則

TEL: 089-999-1111

FAX: 089-999-1161

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい